

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	JAFLO西広島
住 所	広島市西区己斐本町1-5-8 102
電話番号	082-208-0970

事業所番号	3410215234
管理者名	岡山 悦子
対象年度	令和 7年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 中広町1-2-12、楠木町1-13-14
 実施日程 令和6年4月1日~令和7年3月30日
 利用者 15名
 実施した生産活動
 弁当の盛り付け、弁当の新商品開発、
 ハンバーグ製造

<目的>

地域連携活動のねらい
 地域、企業、商店など、お互いにふれ合う機会ができる
 地域にとってのメリット
 潜在的な顧客層の獲得にも繋がり、人の流れができる
 対象者にとってのメリット
 生活圏外に出かける機会が増すため、視野が広がる

<成果>

実施した結果
 他者への貢献、社会への貢献が目に見える形で、
 利用者の実感を得やすく、より一般へのステップアップの場を作りやすい。
 得られた成果
 2名一般就労移行でき、1名は6ヶ月以上継続。
 課題点
 一般就労移行した後の意識の維持と、対人関係を1から構築することの
 難しさを、本人にどこまで教えることができるかが課題。

<活動の様子>



楠木町1-13-14
 盛り付け作業
 箸袋封入作業
 の様子



楠木町1-13-14
 厨房の風景

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価:

連携した結果に対する意見または評価

さらなる生産性の向上が課題となる。作業を細分化し、請負が可能な作業のみを委託するため、手間が増える場面が目立つ。
 職業指導員との協議を定期的に行い、双方にとってより良い環境作りと仕組み作りが必要。利益率改善のための施策を提案。
 より一般就労に近い環境を作り、本番さながらの訓練を行えるので、利用者本人にとっては非常にいい経験を積める。

今後の連携強化に向けた課題

連携を強化するためには、職業指導員と頻繁に協議し、お互いの問題点を提起する事。またその問題点を1つ1つ潰していく。
 時間を要するため、そのためのコミュニケーションの時間をどのように設けることができるかが課題。
 委託先企業、事業所、利用者の三方吉の企画を提案し、合意形成を得るまでのハードルが高いため、お互いがある程度の妥協点を持つこと。

連携先企業名

ユニークアーティクルジャパン

担当者名

藤川